



アストモスガス かわら版

2022年1月号

謹んで初春の
お喜びを申し上げます

青森県八戸市の太平洋に面した
「種差海岸」の初日



明日を灯す

Home & Life



料理・掃除・節約や暮らしトピックスなど
おうちの情報満載です♪



<https://www.astomos-retailing.com>



編集

アストモスリテイリング株式会社 東北カンパニー/青森支店

LPガス事業関連の各団体について

私たちLPガス業界では、安全で安心にLPガスをご利用して頂くため様々な団体があり、日々活動しております。
今回その中から、5団体をご紹介します。

1. 日本LPガス協会

<https://www.j-lpgas.gr.jp/index.html>

LPガス産業の健全な発展を図り、もって社会に貢献することを目的として、LPガスの安定供給への取組み、保安の確保、政策提言等の様々な活動を行っています。

2. 日本LPガス団体協議会

<http://www.nichidankyo.gr.jp/>

LPガス産業の健全な発展に永続的に寄与することを目的に一般事業を行っています。また、都市ガス業界と連携したコラボを通して住宅業界や住宅設備業界とも密接な関係を深め、ガス体エネルギーの普及・拡大に努めています。

3. 日本エルピーガス機器検査協会

<https://www.lia.or.jp/>

LPガスの消費機械、器具及び材料に関する適合性検査、試験、研究等を行うことにより、LPガス器具等の安全性及び品質・性能の維持・向上及び事故の防止等を図り、国民生活の安全の確保と国民経済の健全な発展に寄与することを目的としています。

4. 日本エルピーガス供給機器工業会

<http://www.jlia-spa.or.jp/index.html>

LPガス供給機器の品質・性能に関する規格、基準の策定及び普及施策の推進、保安対策の確立の促進等を行っています。

5. 日本ガス石油機器工業会

<https://www.jgka.or.jp/industry/gaiyou/index.html>

ガスこんろやガス給湯器、石油ストーブなどのガス・石油燃焼機器メーカーで組織された団体で、ガス機器・石油機器産業の健全な発展をはかり、もって国民生活文化の向上と我が国産業の発展に寄与することを目的とし活動しています。

各団体では動画も配信しています。次ページへ

LPガス業界団体のYouTubeチャンネルをご紹介します。

LPガスチャンネル

<https://www.youtube.com/user/nichidankyo>

「青い炎の旅」 28:49



日本LPガス協会

「LPガスオンステージ -Fly Me to the Fuji-」 1:58



日本LPガス団体協議会

「明るく・イキイキ 歌ってLPガス」 6:21



LPガス安全委員会

「ボボボのおっさん」 0:51



日本ガス石油機器工業会

全国LPガス公式チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UC2ldg35QwblbeH97um_xpOw

新型コロナウイルス感染影響による半導体不足により各製造メーカーの製品生産に遅れが生じております

半導体とは？

・半導体と呼ばれるチップはマイクロチップとも呼ばれ、電子機器の頭脳として機能しています。

チップの大きさはさまざまですが、その中には何十億ものトランジスタが内蔵されています。トランジスタは小さな小さなゲートのようなもので、電子がそこを通過するかしないかを決定します。

半導体の構築には、複数のステップと日数、そして専門家が必要です。



半導体は何に使われている？

・現代のほとんどの電子制御機器に搭載されています。
(自動車・家電品・通信機器・冷暖房機器・その他電子部品を搭載する全ての商品)

国内外における半導体シェアは？

・半導体の87%は台湾、韓国、中国で生産され、世界のチップの54%は台湾の1社で製造されています。
よって、限られた半導体チップの供給と偏った市場シェアのため、混乱を避けることはできませんでした。

各国の対応

- ・米国は、半導体関連の取り組みに520億ドルの資金が割り当てられており、インテルやTSMCの設備投資計画と並行して、チップ生産量を増加させることが期待されています。
- ・EUは、チップメーカーの現地化の必要性を表明し、戦略的な官民パートナーシップを形成して資金を調達する意向を示しています。
- ・韓国は、半導体製造のオンショアリングを支援するために、今後10年間で4,500億ドル以上の投資を行うことを発表しました。

「津軽びいどろ」ってご存知ですか？

青森県の伝統工芸品に認定されている、手作りガラスの
「津軽びいどろ」



「津軽びいどろ」の始まりは漁業用の浮玉から

1949年の創業当初は浮玉を作るガラス工場が複数存在していましたが、北洋硝子製は他の製品と比較して厚みが均等で水圧にも強く丈夫だと全国から注文が入るようになり、1973年には業界トップシェアに上り詰めました。

「津軽びいどろ」の作り手は、
本州最北端のガラス工場

「北洋硝子株式会社」



「津軽びいどろ」は、自社で調合、製造している100色を超える色ガラスを使い、ひとつひとつ手作りで作られているガラス工芸品です。

「青森の自然や風景、季節の事柄を色ガラスで表現、デザインする」をコンセプトに作られています。普段使いの食器からインテリア品まで、多彩で華やかな製品の中からお気に入りの一品を見つけて見て下さい。

ここで買えます、見学できます

・「津軽びいどろ」ホームページ

<https://tsugaruvidro.jp/>

・オンラインショップ

<https://tsugaruvidro-online.com/>

・青森直営ショップ

青森県青森市富田4丁目29-13

・工場見学要予約（除12:00～13:00）

TEL 017-782-5183 9:00～16:00

東北のお正月料理



青森県

南部地方では、おせち料理と一緒に「**いちご煮**」(ウニとアワビの潮汁)という料理がおめでたい食卓で出されます。



岩手県

岩手県では、「**紅葉漬**」という鮭の身とはらこを醤油漬けしたものが、お正月に食べる料理として欠かせないと言われています。



宮城県

宮城県では「**カレイの煮つけ**」が大晦日からお正月に食べられ、「ナメタガレイ」はお正月に欠かせないお魚と言われています。



山形県

山形県では、「**鯉(こい)のうま煮**」という鯉をぶつ切りにして甘じょっぱく煮詰めた山形の郷土料理をお正月に食べているそうです。



福島県

福島県では、「**いかにんじん**」という、にんじんとスルメイカを細切りにして、醤油、日本酒、みりんなどで味付けした郷土料理が出されます。



※各県地域により異なる場合もあります。

青森県の冬景色やイベントの紹介



十和田湖「光の冬物語」
～2022年2月20日(日)



奥入瀬渓流「氷瀑ツアー」
～2022年3月6日(日)



弘前公園「冬のお花見」
～2022年2月28日(月)



五所川原「地吹雪体験」
～2022年2月上旬

青森県には冬のお花見
(真冬にピンクの花が咲く?)
鮫駅というジョーズのオブ
ジェ?が有る駅とか映えス
ポットが色々あります。



八戸市「JR鮫駅イルミネーション」
～2022年1月末

